

1. 事業主体別の収支状況等について

- 民営バスの経常収支率は、収入よりも支出の増加幅が上回ったため、前年度に比べ減少（97.5%→97.2%）。
- 公営バスの経常収支率は、収入が減少し、支出が増加したため、前年度に比べ減少（95.1%→94.2%）。
- 公営バスの経常収支率（94.2%）が90%を超え、民営バスの経常収支率（97.2%）との差は、15年前と比べ大きく縮小。

2. 大都市部とその他地域について

- 大都市部の経常収支率は、収入よりも支出の増加幅が上回ったため、前年度に比べ減少（103.2%→103.1%）。
- その他地域の経常収支率は、収入よりも支出の増加幅が上回ったため、前年度に比べ減少（88.3%→87.4%）。
- 大都市部の経常収支率（103.1%）が、昨年度に引き続き100%を超え、その他地域の経常収支率（87.4%）との差は拡大。

※大都市部（三大都市圏）とは、千葉、武相（東京三多摩地区、埼玉県及び神奈川県）、京浜（東京特別区、三鷹市、武蔵野市、調布市、狛江市、横浜市及び川崎市）、東海（愛知県、三重県及び岐阜県）、京阪神（大阪府、京都府（京都市を含む大阪府に隣接する地域）及び兵庫県（神戸市及び明石市を含む大阪府に隣接する地域））ブロックの集計値。